

安比高原ブナ二次林 ブナ浴のすすめ

緑のダムと呼ばれるブナ林。驚くのは、その保水力。
一歩足を踏み入れると、しっとりとした空気があなたを包みこみ、
地面がまるで絨毯のようにフカフカなことに気づきます。
種を飛ばし倒れたブナは、やがて他の木の養分になり、
空いた場所に差し込む太陽が、新しい芽を育てます。
そうして時間をかけて育まれたブナ達が息づく林で、
しばしゆったりとブナ浴をお楽しみください。



秋のブナ二次林を見上げると、黄色くなった葉が透き通る
ように見え、やわらかな日差しが入ってきます。



エンザンドウ



ヤナギラン



ギンリョウソウ

奥のまきば

火山活動による岩塊が積み重なってできた台地のく
ぼみに水がたまってできた地塘群が広がる高層湿原
です。季節毎に美しい高山植物が見られます。

- 6月上旬～新緑
- 7月上旬～ヤナギラン、ミズギク
- 8月中旬～コバギボウシ、エンザンドウ など



黒滝

奥のまきばの解放された
雲間気から、うっそうとし
たコメツガの林を進むと
滝があり、まったく違った
雲間気がみられます。奥
のまきばから徒歩30分。

〈お出かけ前に〉

森には人と動物が共存しており、安比高原ブナ二次林でも熊の生息が確認されてい
ます。森を歩く際は「熊鈴」などを携帯し、自分の存在を知らせながら歩くことをお
勧めします。また、ゴミを捨てない、植物を持ち帰らない等のマナーを守りましょう！



安比高原ブナ二次林は平坦ですが、自然環境が異なる
場所で季節ごとの自然散策が楽しめます。春には新
緑、夏には山野草やセミの羽化、秋には落ち葉のじゅう
たん、いつ訪れても見どころがあります。

○1986年 森林浴の森日本100選

○2002年 遊歩百選

- 4月下旬～芽吹き
- 5月中旬～新緑
- 6月下旬～ギンリョウソウ
- 10月上旬～紅葉

ブナ二次林

森の広場

巨木の森

樹齢200～300年と
いわれる巨木が
たくさんあります。



白いブナ林とは、木もれ日があたって白
く輝くことからついたものです。

奥のまきば

▲岩畑山
938m

散策コース例



奥のまきば・黒滝コース



巨木を育む森

ここには、マザーツリーと呼ばれる、ブナの巨木があり、
その迫力に圧倒されます。周りのイスに座って見上げ
ると、さらに大きく見えます。ブナは300年しないうちに
風で倒れたり枯れたりすることが多く、巨木があまりない
と言われています。



なだらかな斜面で林内には20m毎に標識
があります。Dからブナの駅までは約
1km、DからF～G～白いブナ林入り口
までは約2km。

ぶなの駅



アッテラス (高見台)

駐車場30台分(大型バス駐車可)あり、トイレ(オス
トメイト設備)や水場、休憩施設があります。利用は
無料、5月中旬から11月上旬まで利用可能です。



中のまきばは春から夏には一面に天然
野芝が広がります。

中のまきば

- 4月下旬～アズマギク
- 5月中旬～ミネザクラ
- 6月上旬～レンゲソウ
- 7月上旬～ヤナギラン など



アズマギク

至 茶臼岳
登山口 ↓

野芝草原の再生へ ～安比高原ふるさと倶楽部の活動～

安比高原の自然環境を次世代につなぎ、地域の活性化を目的にペンシ
ョン・民宿オーナー、企業、関係団体、大学など市民を中心に構成されて
いる。馬による芝草原の復元調査と研究、放牧実験、植生調査、藪の
刈り払いのほか、地元小学校での課外授業、「遊々の森(前のまきば・
中のまきば・奥のまきば)」での自然体験活動など自然環境保全事業、
普及啓発活動が行われています。

自然環境保護の為、
マナーを守りましょう。

安比高原ブナ二次林

初夏 6月上旬

岩手北部森林管理署と岩手県八幡平市とは、「あつぴ高原遊々の森」(面積181.29ha)として「中のまきば」、「ブナ二次林」を中心とした森林環境教育や体験活動の場として利用できる協定を締結しています。

林野庁では、国有林をフィールドとして提供する「遊々の森」の設定を推進しています。

交通のご案内

東北自動車道／松尾八幡平ICより約25分
安代ICより約30分

JR花輪線・IGRいわて銀河鉄道

／最寄駅「安比高原駅」から7.6km
(無人駅・公共交通機関はありません。)

「荒屋新町駅」からタクシーで約25分

■安代観光タクシー ☎0195-72-2535

「平館駅」からタクシーで約25分

■平舘タクシー☎0195-74-2525

タクシー利用の際は、事前予約がおすすめです。

この地図は、八幡平駅周辺の詳細な地図です。八幡平駅は無人駅ですが、タクシー利用可能です。地図には、八幡平山、松尾山、八幡平市役所、八幡平市観光協会などの施設や、八幡平焼走り熔岩流などの自然景観が描かれています。また、八幡平駅と松尾八幡平駅の間には、八幡平市観光協会が主催する「八幡平焼走り熔岩流」の観光コースが示されています。

●：無人駅

 : タクシー利用可能駅

一般社団法人 八幡平市観光協会

〒028-7303 岩手県八幡平市柏台一丁目28番地

TEL 0195-78-3500 FAX 0195-78-3838

<http://www.hachimantai.or.jp/>

E-mail: kanko@hachimantai.or.jp

(R3.5)

秋 10月上旬

二次林

二次林とは、本来その土地にあった森林が、台風や噴火などの自然災害や伐採などによって裸地となり、その後、自然に再生した森林をいいます。地元の人たちは「前のまきば」「中のまきば」「奥のまきば」と呼んでいる安比高原。この芝生高原を取り囲むようにブナの二次林が広範囲に分布しています。

ここは、古くから、地元の人たちの木炭や漆器等の材料にするため伐採されました。その際、1ヘクタール当たり数本の母樹や、のこぎりで伐採できないような大きな木が残されたといわれています。それらが親木となり、種子が落下して発芽し、再生しました。

当時は牛馬の林間放牧も盛んに行われていたため、ブナの稚樹の成育をさまたげるササ等の競争相手が採食されたことも、成育にとって好都合だったといわれています。

現在、見事なブナ二次林となり、私たちに豊かな自然の恵と安らぎを与えています。

林内には散策路があり、二次林が間近に観察でき、森林浴の森日本100選にも選ばれています。